

北秋田市 介護職員初任者研修

高校生らに修了証明書



小笠原会長（右）から修了
証明書を受け取る受講者

北秋田市の高校生らを対象とした介護職員初任者研修の修了式が17日、同市材木町の特別養護老人ホーム「つむぎの彩」で開かれた。座学と実技の計130時間の研修を受けた16人が修了証明書を受け取った。

研修は就職支援や介護人材の確保を目的に、市や市社会福祉協議会が実施している。秋田北鷹高校、能代松陽高校、能代高校の2、3年生らから12月に受講した。

修了式では、市社福協の小

笠原信会長が「研修で学んだ人を思いやる心や支える力は今後の財産になる。これまでの努力に誇りを持って一歩一歩前に進んでほしい」とあいさつ。一人一人に修了証明書を手渡した。

秋田北鷹高3年の安東優希也さんは「研修では難しい内容もあったが、互いに教え合いつつながら身につけることができた。将来は介護関係の仕事に就きたいので、今後さらに学びを深めていきたい」と話した。

（原田大生）